

## ●難しい記述問題を解くために必要な力●●

では、先にあげたような難しい記述問題を解くためには、どのような力が必要になるのでしょうか。主に次のようなものがあげられるでしょう。

- ① たくさんの言葉を知っていて、使いこなす力
- ② 言いたいことを、人に伝わるように表現する力
- ③ 自分の文章を見直しててんさくする力
- ④ 問題文には直接書かれていない事柄を、少ない手がかりから読み取る力

順番に見ていきましょう。

### ① たくさんの言葉を知っていて、使いこなす力

別の言葉でいえば、「語彙（ごい）（使える言葉）が豊富」ということです。難しい記述問題では、たくさんあげられている具体例を一語で言いかえたり、問題文全体に表現された筆者の考えを短い文にまとめたりしなくてはならない場合があります。このように、具体例や、さまざまな形で表現されている筆者の考えからある共通点を取り出してまとめることを、「抽象化（ちゅうしょうか）」といいます。難しい記述問題では、「抽象化」して別の言葉で表現する力が、かぎをにぎる場合が多くあります。次の【例】を見てみましょう。